



社会医療法人
水和会

水島中央病院

病院案内

脳神経外科



— 誠実、優しさ、安全をもって信頼される病院 —

目次

- 脳神経外科のご紹介
脳神経外科医師紹介
- 当院の概要
- 医局・当直室・救急処置室

当院の所在地

倉敷駅から水島臨海鉄道に乗り、20分程で行き来できる距離に位置しています。
倉敷市南部地域、特に水島・児島・玉島地区の二次救急医療を提供する病院としての役割を担っています。



水島中央病院 脳神経外科のご紹介



クモ膜下出血、脳内出血や脳梗塞などの脳血管障害や頭部外傷に対する急性期治療を行っています。

脳神経外科の特徴・特色

- ・両手足に力が入らない、感覚がない、言葉がうまくしゃべれない、物がよく見えないといった症状が突然出現した場合は脳卒中の疑いがありますので様子を見ずに、早めに当科を受診してください。脳卒中は時間との勝負です。
- ・認知症の中には水頭症や慢性硬膜下血腫など、手術で改善されるものもあります。
- ・脳ドックにも力を入れています。脳神経外科学会専門医により検査結果を報告します。症状がある方はもちろん、症状がなくとも高血圧、加齢、家族歴などの危険因子がある方は受診をお勧めします。
- ・24時間体制でMRI、CT検査を行います。
- ・入院加療は内科、外科、整形外科など他診療科と協力して行います。

脳神経外科医師紹介



脳神経外科部長 三島 宣哉 (みしま のぶや)

医師免許取得 昭和58年

認定医・専門医・指導医

日本脳神経外科学会専門医・指導医



非常勤医師 秋岡 達郎 (あきおか たつろう)

医師免許取得 昭和45年

認定医・専門医・指導医

日本脳神経外科学会専門医，日本リハビリテーション学会臨床専門医

日本医師会認定健康スポーツ医，麻酔科標榜医

当院の概要

開設	昭和36年6月1日
組織	社会医療法人(認可:平成22年10月1日)
現病歴	平成11年11月1日に310床の水島中央病院を 急性期と慢性期病床に分離して新改築 ・水島中央病院(155床) ・倉敷リハビリテーション病院(155床)
標榜科	内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、小児科、 アレルギー科、外科、整形外科、リハビリテーション科、形成外科、 脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、歯科、放射線科、 救急科、麻酔科(全19診療科)
	平成16年 基幹型臨床研修病院に指定 平成21年 電子カルテ導入
職員数	常勤医師29名(内 基幹型病院臨床研修医3名を含む) 全職員数約370名
病床数	6階 回復期リハビリテーション病棟 52床(個室10床)
	5階 一般病棟 52床(特定4、特別室1、個室7床)
	4階 一般病棟 51床(特定6、個室9、感染2床 地域包括ケア病床 個室2、相部屋9床)
患者数	1日平均入院患者数 116.1名(内科1日平均入院患者数 22.2名) 平均在院日数 一般病床 9.5日 1日平均外来患者数 557.2名(内科1日平均外来患者数 134.4名)

医局内・当直室の様子

医局内は開放的な空間となっており、すべての医師に机を配しています。
医局・当直室ともにWi-Fi環境も完備しております。



医局



休憩スペース



当直室



シャワールーム

救急処置室の様子

救急処置室は2室備えています。
救急処置室2(左写真)では陰圧装置を設置しており、発熱患者の処置なども行っています。



救急処置室2

